

検査予約日に採尿容器に尿を入れて、お持ちいただかない場合は、クラミジア・淋菌の検査は受けられません。

クラミジア・淋菌の尿検査を受ける方へ

この検査は、尿の中に含まれるクラミジアと淋菌の遺伝子を検査することにより、感染の有無をしらべるスクリーニング検査（ふるい分けの検査）です。

●尿採取セット（袋の中に入っているもの）

- ・説明書（本書）A4 1枚
- ・折り畳み式採尿コップ 1個
- ・採尿容器 1本

●尿を以下の方法で採って、検査予約日にお持ちください。

※検査予約日以外にお持ちいただいても、受け付けできません。

① 検査当日の正午以降に尿（最後の排尿から1時間以上経過した後の尿）を採ってください。

※当検査室のビルのトイレでは、採尿はできません。

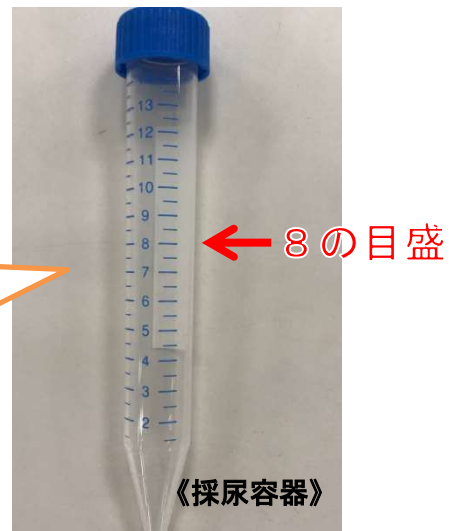
※女性の場合、生理中は正しい結果が得られない場合や結果が出ない場合があるため、ご遠慮ください。

② 出始めの尿を採尿コップに1cm程度採ってください。

③ 採尿コップから、尿を採尿容器の8の目盛まで移してください。

採尿容器のキャップをしっかりと閉めてください。

採尿容器の8の目盛まで
尿を移し入れる。
(だいたい半分くらいまで)



④ 採尿容器を尿採取セットが入っていた袋に入れて、検査予約日にお持ちください。

※配布した採尿容器以外では、受け付けできません。

⑤ 折り畳み式採尿コップは、ビニール袋等に入れて口を縛り、各自治体の廃棄方法に従って処理してください。

●検査結果は、HIV検査結果と同じ日にお知らせします。

問合せ先：東京都新宿東口検査・相談室 03-6273-8512
月～金曜日（祝日を除く）午後3時30分から午後7時30分まで
土・日曜日（祝日を除く）午後1時から午後4時30分まで

性器クラミジア感染症・淋菌感染症とは

性器クラミジア感染症

日本で最も多い性感染症です。自覚症状がない場合が多く、感染に気付かないことがよくあります。しかし、進行すると、不妊症や母子感染など様々な病気の原因になるので、きちんと治療する必要があります。

淋菌感染症

男性にはすぐにはっきりした症状が出ますが、女性は症状に気付きにくく、進行して初めて分かることがよくあります。

どちらの感染症も進行すると、男性は精巣上体炎等、女性は卵管炎等や母子感染など、様々な病気の原因になるので、きちんと治療する必要があります。

『STI 性感染症ってどんな病気?』（東京都福祉保健局）から抜粋しました。

以下 HP からダウンロードしてご覧いただくことができます。

URL: <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryu/koho/kansen.files/sti.pdf>

HP: 「東京都 エイズ」で検索し、「エイズ対策担当発行の出版物」より

感染症総合サイト『東京都性感染症ナビ』

性感染症について、症状や予防方法、検査などの情報を分かりやすく掲載した性感染症総合サイトです。

URL: <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/seikansensho/>

尿検査の結果のみかた と その後の対応

この検査は、排尿の際に含まれる尿道のクラミジア・淋菌の遺伝子を調べる検査です。

「陰性(-)」の意味

- ・提出された尿の中に、クラミジア・淋菌の遺伝子がなかった、ということです。
- ・ただし、尿検査では、咽頭、肛門（女性の場合は腹腔内）の感染についてはわかりません。
- ・気になる症状がある場合や、咽頭・肛門などの感染が心配な場合は、医療機関の受診をおすすめします。

「陽性(+)」の意味と対応

- ・提出された尿の中に、クラミジア・淋菌の遺伝子があった、ということです。
- ・詳しい検査や治療が必要かを判断するため、医療機関を受診してください。
診療科目は、性病科、感染症科、泌尿器科、婦人科など

* 医療機関は、東京都医療機関案内サービス（ひまわり）で検索できます。

電話：03-5272-0303 FAX：03-5285-8080（聴覚障害者の方等専用）

ホームページ：<http://www.himawari.metro.tokyo.jp/>

<http://www.himawari.metro.tokyo.jp/kt/>（携帯電話）